

山村淳一先生の講演〈質問〉

多くのご質問をいただき、ありがとうございました。しかし、あまりにも数が多かったため、山村先生の業務に支障をおかけするものと判断し、質問を絞らせていただきました。大変申し訳ありませんでした。また、皆さんへのお知らせが大変遅くなり、そちらも申し訳ありませんでした。(研究部 井口亜由美)

【学校や通級指導の場で取り組めること・気を付けるべきことについて教えてください。】

●反応性愛着障害に該当するであろう児童が思い浮かびます。支援学級の児童 5 年男児です。今年度に入り、放課後に他校のお子さんの物を壊したり、殴ったりして警察のお世話にもなっています。もちろん本校でも好きな女の子の物を隠したり、気に入らないことがあるとすぐに手が出たりします。性にも芽生え、妹の体も触っているようです。今後、学校としてどのようにサポートしていけばよいのでしょうか。校長も頭をかかえています。お忙しいところ申し訳ありませんが、教えていただけると幸いです。

回答:保護者にも学校での問題点をしっかり伝えて、分かってもらった上(一緒に困ってもらった上)で、医療機関や児相、サポートセンター(真犯行為に対して)へつなげることを考えて下さい。その上で、性教育なども連携機関で検討してもらって下さい。

●発達障害の子が、社会適応できることが大事だということは、とても強く心にのこりました。その為に、どのような支援が適切、大事ですか？

回答:その子の特性理解を図り、ソーシャルスキルトレーニングを導入するなどを検討下さい。

【負の連鎖を断ち切るためにできることについて教えてください。】

●以前、磐田学園の隣の特別支援学校分校に勤務していた時のことを思い出しました。ほとんどすべての児童生徒がネグレクトや虐待を受けていましたが、その親もまた虐待を受けていたという事例ばかりで、「虐待やネグレクトは連鎖する」ということを強く感じました。このような負の連鎖を断ち切るために、学校や通級の現場でできるようなことは何でしょうか。

回答:本人への対応(児相への通告、医療機関受診につなげるなど)を端緒として、出来れば親子並行治療を行うことが肝要ですが、なかなかそこまでやってくれる医療機関が無いというのが現状です。

●保護者の子どもに対する捉えや学校との関係性から悪い方へと進んでしまっていて、外部機関ともつながっておらず、日常のトラブルや生徒らの言動に振り回されてしまっています。学校側が丁寧な支援や声かけをしても家庭との連携が持てず、改善せずにあります。このような場合、どのような順序で、どのように、どんな支援をしていくのが有効か？教えてほしいです。

回答:まずは、保護者に日常のトラブルについて、知ってもらうことが重要です(関係性が悪い中、嫌がられるとは思いますが、それでも保護者にも問題意識を持ってもらわないと、何も動きません)。その上で(保護者も学校からの幾度にも渡る連絡に困っている状況となって)、医療機関受診に何とかつなげる必要があります。浜松市では専門家チーム会議などのシステムが動いているので、その際に専門家から医療機関受診を勧められたと言って、つなげるようにしてもらっていますが、他地域などでそのような制度が無いと、難しいのが現実ですが。

【天竜病院のシステム・受診について教えてください。】

●浜松方式に入れられない他市の児童が先生のところで見ていただくことはできるのでしょうか。見ていただけるのなら、どのような手続きを踏めばよいのでしょうか。

回答:まずは、近医児童精神科(あるいは小児科で発達も診て下さる先生)への受診をして下さい。その上で、入院治療希望にて当科への紹介をして頂ければ、つながれるかと思います。ただ、退院後は紹介元医療機関で外来治療を

継続して頂くことが条件なのと、コロナ禍での遠方からの入院には色々とハードルが高いという現状ではありますが。